

令和2年度

# 主要・新規事業等の概要

令和2年12月定例会補正予算



ちようどいいまち  
ちよっといいまち  
これまでもこれからも  
2020高浜市50th

高 浜 市

# 目 次

## 一 般 会 計

### 2 款 総務費

- N o . 1 アシタのたかはま研究事業  
(宅配ボックス導入支援事業費補助金) 【新規】 . . . . . 3
- N o . 2 I C T 推進事業 ( R P A 導入業務委託) 【継続】 . . . . . 5

### 10 款 教育費

- N o . 3 小学校維持管理事業  
(港小学校校舎増築工事等) 【新規】 . . . . . 7
- N o . 4 小学校維持管理事業・中学校維持管理事業  
(小・中学校手洗い場自動水洗化工事) 【新規】 . . . . . 8

## 第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

### I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

No. 2 ICT推進事業（RPA導入業務委託）・・・・・・・・・・ 5

### II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

No. 3 小学校維持管理事業  
（港小学校校舎増築工事等）・・・・・・・・・・ 7

No. 4 小学校維持管理事業・中学校維持管理事業  
（小・中学校手洗い場自動水洗化工事）・・・・・・・・ 8

### III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

No. 1 アシタのたかはま研究事業  
（宅配ボックス導入支援事業費補助金）・・・・・・・・ 3



第6次高浜市総合計画 将来都市像

**思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま**

～高浜市が目指す姿のキャッチフレーズ～

主要・新規事業等												
事業名等	アシタのたかはま研究事業 (宅配ボックス導入支援事業費補助金) 【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ											
総合計画区分	基本 目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別 目標	(6) 産業を活性化して、 まちを元気にします				
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	12企画費	
	事業名	05アシタのたかはま研究事業										
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響で、人と接触する機会のある現地での買い物避け、配達等を利用する方が増加しています。そこで新型コロナウイルス感染症対策として、人と人との接触機会を減らし、再配達率が減少することによる二酸化炭素の排出抑制及び配達員と市民の感染リスクの軽減を図る必要がある。										
	目的 (何のために)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止および二酸化炭素の排出抑制のため										
	対象 (誰・何を対象に)	市民										
	事業内容 (手段、手法など)	宅配ボックス(居住者の代わりに荷物を受け取るロッカー型設備)の設置に対する補助金を交付する。 (設置対象者の要件) 1) 高浜市に住所を有すること。 2) 当該宅配ボックスを自ら居住する住宅に設置し、適切に使用できること。 3) 当該宅配ボックスの設置は、法令等に違反していないこと。 4) 同じ住所に宅配ボックスを設置していないこと。 (助成額) 宅配ボックス1基につき購入金額の1/2を補助金として交付する。(上限10千円) (申請・交付の流れ) 購入書の申請・取得 → 販売指定店での購入 → 販売指定店から販売個数に応じて市へ補助申請 → 交付決定 → 販売指定店へ補助金交付										
	目指す成果 (期待される効果)	新型コロナウイルス感染者数の抑制および二酸化炭素の排出抑制										
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)	
	新たに新型コロナウイルス感染症に感染した人の数の抑制 (本取組のみでの目標数値設定は困難のため未設定)										令和3年3月	
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)								
	1,000千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
事業費 積算内容	・宅配ボックス導入支援事業費補助金 申請件数 100件 × 助成上限額 10千円 = 1,000千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施 スケジュール										→	↓	→
										指定店承認申請受付		
											↓	→
											制度のPR	
											↓	→
											購入証明書の発行	
											↓	→
											指定店への支払い	
補正予算書及び説明書該当ページ	51ページ											

資料等(位置図等)



(参考) 宅配ボックス



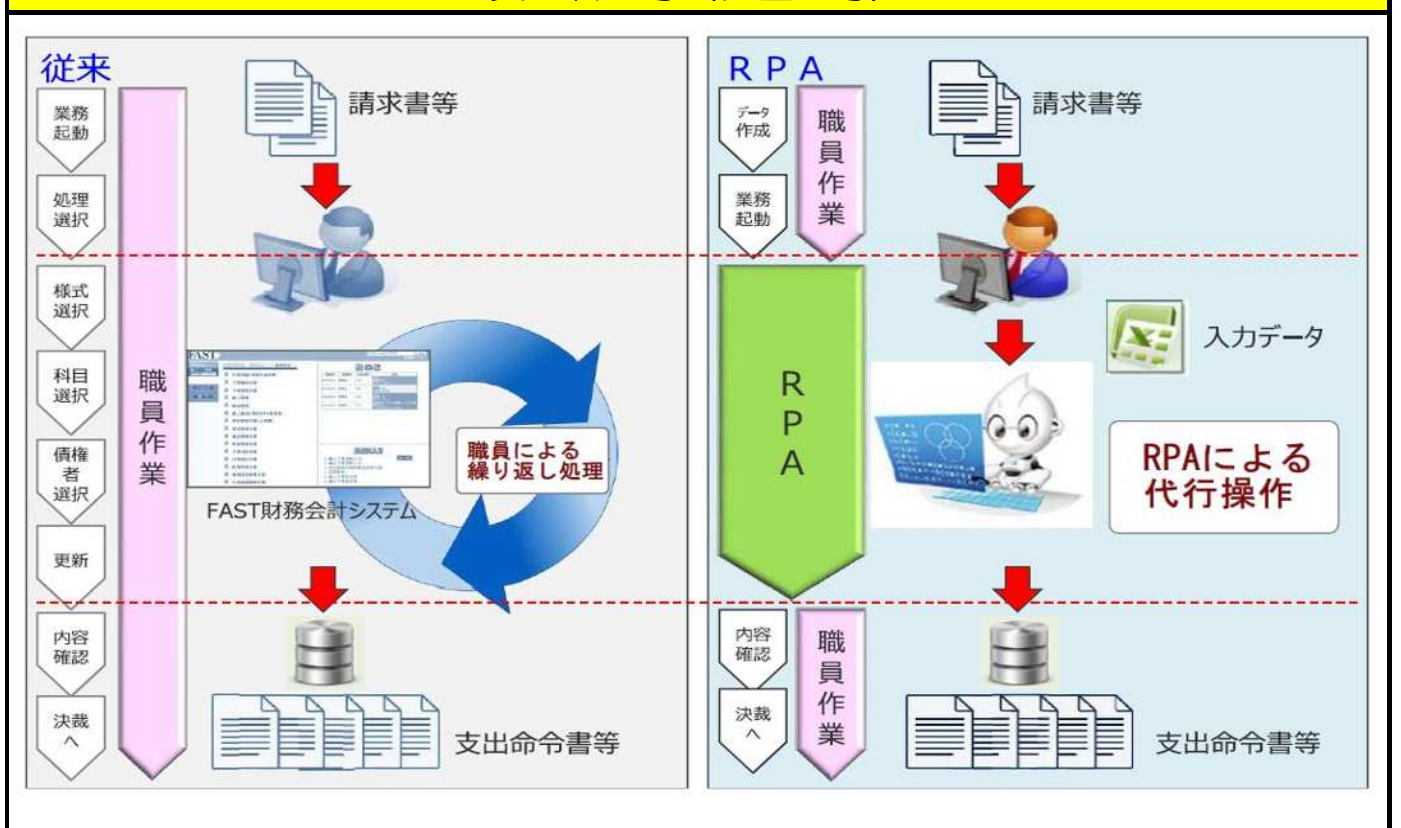
主要・新規事業等

事業名等	ICT推進事業（RPA導入業務委託）【継続】												
担当グループ	企画部ICT推進グループ												
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	12企画費		
	事業名	10ICT推進事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	複雑かつ高度化する市民ニーズに対応するためには、定型業務の合理化は必要不可欠であり、ICTを活用した定型業務の自動化は一つの解決策として注目されています。 このため定型業務自動化の代表格であるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）技術を導入し、すべての職員が関係する財務に関する業務の合理化を図ります。											
	目的（何のために）	本事業は財務に関する業務時間の削減を目的とします。財務会計の業務は年間7,330時間（令和元年度実績）を要し、RPA導入により年間1,658時間、22.6%の業務時間の削減を目標とします。なお、RPA化の対象を財務としたのは、費用対効果、全職員が利用可能、RPA化の効果をすぐに実感できるものとして同業務を選定しています。											
	対象（誰・何を対象に）	財務に関する定型業務											
	事業内容（手段、手法など）	本事業は、令和2年11月にリプレースした財務会計システムと連動した組み込み型RPAであり、動作検証済み（完成済み）ロボット全42業務（※）が専門的な知識がなく利用可能となります。また、クラウド型サービスを想定していることから、職員に貸与しているPC（228台を想定）での利用が可能となります。 令和2年度はRPAが利用可能な環境構築で4,950千円、令和3年度から令和7年度までは毎年度3,960千円のシステム利用料が発生します。  （※）42業務の内訳：帳票出力22業務、システム登録12業務、突合（照会）8業務 計42業務											
目指す成果（期待される効果）	令和3年度から令和7年度の間、毎年度1,658時間の業務時間の削減を目標とします。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	財務に関する業務時間、年間1,658時間の削減										令和3～7年度の毎年度		
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	4,950 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			4,950		
事業費積算内容	・RPA導入業務委託料4,950千円 （令和3～7年度：RPAシステム利用料3,960千円×5年）												
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール										(1)環境構築	●	→	
										(2)運用試験	●	→	
										(3)職員研修	●	→	
												4月より運用開始	
補正予算書及び説明書該当ページ	51ページ												

## これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度 ～ 令和2年度	総事業費	5,414千円			
これまでの主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度（決算額：RPA実証実験業務委託・RPA開発支援業務委託463,500円） 市民税還付口座の登録など4業務のRPA化を実験し年間202時間の削減効果があることが判明。</li> <li>令和2年度当初予算（予算額：8,983千円） 専用パソコン3台で専門家の補助を受けながら職員による業務のRPA化（RPAの内製化）の予算を計上。</li> <li>12月補正（当初予算額8,983千円-12月補正額4,033千円=現計予算額4,950千円） 令和2年4月より大手3社よりRPAソフトに関するヒアリングを実施。費用対効果の観点からRPAの内製化から動作検証済みロボット（42業務）が標準パッケージされ、全職員がRPAが利用可能なシステムを選定。</li> </ul>					
令和2年度（予算）	取組内容	令和2年11月より稼働している財務会計システムにRPA（動作検証済みロボット42業務）が稼働するための（1）環境構築、（2）運用試験、（3）職員研修を実施する。 ※本稼働は令和3年4月より				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	8,983 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源 8,983
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度当初予算額8,983千円の内訳 選定業務1,485千円、導入支援（SEのサポート）5,115千円、ソフト利用料1,715千円 PC×3台668千円 計8,983千円 （参考）当初予算額8,983千円-12月補正額4,033千円=現計予算額4,950千円</li> </ul>					
令和元年度（決算）	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>RPA実験対象業務として、①市民税還付口座登録、法人番号登録（②法人税用、③特別徴収用）、④特別徴収異動届の4業務を選定。年間202時間の削減効果及び扱う職員に一定のプログラミング知識が必要ながことが判明。</li> </ul>				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	464 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源 464
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>RPA実証実験業務委託料216,000円</li> <li>RPA開発支援サービス業務委託料247,500円</li> <li>計463,500円</li> </ul>					

## 資料等（位置図等）



主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業（港小学校校舎増築工事等）【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本 目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう						個別 目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計			款	10教育費		項	02小学校費		目	01学校管理費		
アクションプラン	事業名 01小学校維持管理事業 <input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	現在、港小学校は空き教室が全く無い状況であるが、本年6月の教育支援委員会において、小学校入学後に支援が必要と思われる年長児の概要が示され、令和3年度に特別支援学級の児童数が増加し、特別支援教室が不足する見込みとなった。また、これまで普通教室確保のために廃止された多目的教室の不足、放送室を間借りしている通級指導教室のスペース確保及び普通教室を分割して使用し手狭となっている特別支援教室のスペース拡大が課題となっていた。												
	目的 (何のために)	特別支援学級児童数の増加による特別支援教室の不足を解消すること及び多目的教室と通級指導教室の不足を解消するため。												
	対象 (誰・何を対象に)	港小学校の児童												
	事業内容 (手段、手法など)	特別教室（少人数指導教室2教室、通級指導教室1教室）及び多目的教室を含めた4教室を校舎西側の渡り廊下南側に軽量鉄骨造2階建てで増築する。												
目指す成果 (期待される効果)	学校の教育環境が向上する。													
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	軽量鉄骨造2階建てを校舎西側の渡り廊下南側に増築する。										令和3年9月			
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
145,321 千円			34,000		83,400		27,921							
事業費 積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>港小学校校舎増築工事費 139,700千円</li> <li>港小学校校舎増築工事監理業務委託料 5,621千円</li> </ul> (工事スケジュール) <ul style="list-style-type: none"> <li>工事請負契約締結：令和3年3月</li> <li>工期：令和3年3～9月</li> <li>供用開始：令和3年10月</li> </ul>													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施 スケジュール										入札事務		★契約		
補正予算書及び説明書該当ページ	75ページ													



主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業・中学校維持管理事業 (小・中学校手洗い場自動水洗化工事)【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本 目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう					個別 目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	02小学校費・03中学校費		目	01学校管理費	
	事業名: 01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	新型コロナウイルス感染症対策のため、蛇口の開閉による子どもたちの接触感染を防ぐ必要がある。										
	目的 (何のために)	国の地方創生臨時交付金を活用し、学校の手洗い場の水洗を自動化することにより、学校生活を通じた子どもたちの接触感染を防ぎ、児童生徒が安心した学校生活を送れるようにするため。										
	対象 (誰・何を対象に)	吉浜小学校、高取小学校、港小学校、翼小学校、高浜中学校、南中学校の児童生徒										
	事業内容 (手段、手法など)	校舎内廊下の手洗い場を自動水洗化する。ただし、掃除等で使用する蛇口は一部手動のまま残す。										
目指す成果 (期待される効果)	各小中学校で感染症の広がりを抑制し、学校の教育環境を整える。											
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)									達成時期 (いつまでに)		
	小中学校校舎内廊下の手洗い場を自動水洗化する。									令和3年3月		
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)								
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
24,124 千円			24,124									
事業費 積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校手洗い場自動水洗化工事費 24,124千円 (小学校費:18,692千円、中学校費:5,432千円)</li> </ul>											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施 スケジュール										入札		
										自動水栓化工事		
補正予算書及び説明書該当ページ	75、77ページ											